

〒297-0024 茂原市八千代 2-10  
 千葉県教育庁東上総教育事務所  
 TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143  
 E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp  
 第7号

大原はだか祭り

平成28年2月29日(月)発行

## 特集!!

## 「全国学力・学習状況調査」について

### 平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成27年4月21日(火)に、全国の小学校及び特別支援学校小学部の第6学年の全児童、中学校及び特別支援学校中学部の第3学年の全生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

千葉県の調査実施校は、公立小学校810校、公立中学校388校の合計1,198校(特別支援学校を含む)です。

調査の内容は、国語と算数・数学に加え、理科の「教科に関する調査」と、児童生徒及び学校に対する「生活習慣や学習環境等に関する調査」でした。

教科区分別調査結果については、右表のとおりです。表中の数値は公立学校の平均正答率(%)です。

教科区分別に見ると、小学校の国語Aと理科で全国を上回り、小学校の国語Bと中学校の数学A、理科が全国を下回り、他は概ね全国平均と同程度です。なお、全国的な学力の状況については、国立教育政策研究所のホームページに、詳細が記載されていますのでご覧ください。

小学校	千葉県	全国
国語A	○71.5	70.0
国語B	▼64.5	65.4
算数A	74.7	75.2
算数B	45.1	45.0
理科	○61.9	60.8

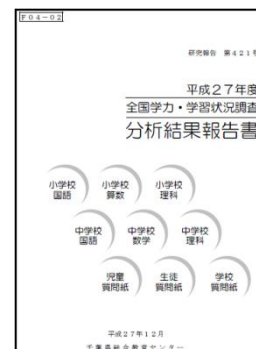
中学校	千葉県	全国
国語A	76.0	75.8
国語B	65.7	65.8
数学A	▼63.4	64.4
数学B	41.6	41.6
理科	▼52.0	53.0

昨年12月、千葉県教育委員会と千葉県総合教育センターでは、学校現場での活用を考慮した報告書を取りまとめました。これを受けて、各学校及び各市町村(組合)教育委員会では、報告書や分析ツールの活用を通して、児童生徒の学力向上及び学習状況の改善に取り組んでいただいています。さらに、次年度に向けて、教育計画の立案や指導方法の改善に取り組んでいってください。

以下、報告書より本県の課題について抜粋して紹介します。

教科区分別調査結果から、各教科区分に共通する課題として、「記述式の正答率が低い」、「無解答率が高い」が挙げられます。下表は、「教科・質問紙調査」に関する今年度の課題を示したものです。


教科・質問紙調査		今年度の課題
小学校	国語	◆記述式(文章の構成や記述方法など複数の条件に応じて書く)
	算数	◆数と計算(小数の減法、四則計算)
	理科	◆観察・実験器具の操作技能
	児童質問紙	◆算数への関心等 ◆学習習慣
	学校質問紙	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆学力向上に向けた『全国学力・学習状況調査』の結果の活用
中学校	国語	◆漢字の書き ◆記述式(複数の資料を意図的に関係付けて記述する)
	数学	◆資料の活用
	理科	◆記述式 ◆物理的領域・化学的領域 ◆基礎的・基本的な知識・技能の活用
	生徒質問紙	◆理科への関心等 ◆総合的な学習への関心等 ◆学習習慣
	学校質問紙	◆家庭学習 ◆学力向上に向けた『全国学力・学習状況調査』の結果の活用








<分析結果報告書>

# 「全国学力・学習状況調査」の結果の活用を進めましょう

全国学力・学習状況調査の結果に見られる本県の課題の改善に向けて、千葉県教育委員会は、ちばっ子「学力向上」総合プランの各事業内容を点検するとともに、重点的に取り組むべきことについて、市町村（組合）教育委員会と連携して、各学校の指導改善を支援していきます。支援の一環として、次の1～4を示します。

1 分析ツール	2 授業づくりシート学校版	3 みんなで、それぞれの立場で指導改善	4 指導改善サイクルの例
 <p>結果分析のためのデータ処理作業を簡便化し、分析結果を見やすいグラフに可視化するソフトを、千葉県総合教育センターのWebサイトで提供しています。</p>	<p>「Ⅱ結果の詳細」で各教科区分の「授業づくりシート 千葉県版」を示すとともに、学校で活用できるワークシートと作成要領を提供します。</p>	<p>指導改善に当たり、教育委員会及び学校が取り組む内容を例示します。</p>	<p>学校が指導改善サイクルを運営する際に必要な業務内容及び手順等を例示します。</p>

## 学力向上に役立つ情報

<p>「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム</p> 	<p>学びの突破口ガイド</p> 	<p>ちばっ子チャレンジ100（児童）</p> 
<p>児童生徒が意欲的に取り組み、思考力・判断力・表現力を高める授業づくりのために開発されたモデルプログラム。「見出す」「調べる」「深める」「まとめあげる」の4つのプロセスで構成される指導事例（小・中学校の教科・領域）も掲載されている。</p>	<p>国語、算数、理科について、児童がつまずきやすい内容を中心に、効果的な指導方法等をまとめた指導用冊子</p>	<p>全国学力・学習状況調査（小学校の国語・算数・理科）を参考にして作成した、基礎・基本となる問題や思考力を高める問題。授業、朝自習、家庭学習資料として幅広く活用できる。 ◆小学校3～6年</p>
<p>「ちばのやる気」学習ガイド（生徒）</p> 	<p>「家庭学習のすすめ」サイト</p> 	<p>確かな学びの早道「読書」事業</p> 
<p>学習内容への見通しを持たせ、学習意欲を高めさせる教材。習熟の程度に応じて取り組むことができる。 ◆中学校各学年版を学校に配付 ◆本ガイド準拠の評価問題をWebサイトで配信</p>	<p>学習習慣の定着や家庭学習への理解の促進を図るために、保護者向けリーフレットや、児童向け学習プリント、モデル例を配信 ◆児童、保護者及び小学校教員向け</p>	<p>「読書が好きになる」ことを目指して、読書指導のアイデア集「読書のみちしるべ」や「実践記録集」を作成したり、学校図書館を有効活用した学習を進める実践協力校の事例を提供したりするなど、読書活動の一層の推進を図っている。</p>

## 平成27年度『事務職員の研修』について（総務課より）

県費負担事務職員対象の研修は、さまざまな形で行われています。今年度、当教育事務所では、次の研修を実施しました。

### 【初任等事務職員研修会】

・年5回…実務中心の研修

### 【給与事務担当者会議】

・年2回…実務、標準報酬制度についての研修

研修内容については、その時期にあったものとなるよう企画しております。また、「初任等事務職員研修会」では、受講生からアンケートをとり、その結果を研修の企画・運営に役立てています。

本管内では、若手の事務職員が増えてきています。そこで、来年度は、『採用後10年前後の事務職員』に対し、更なる飛躍を目指してもらうことを目的に、「学校における諸問題の解決力の向上」が図れるような研修会を計画しています。

